

研究課題番号	3RF-2002
研究課題名	アルミニウムドロスを利用した悪臭物質の分離除去技術
研究実施期間	2020年度～2022年度
研究機関名	東北大学
研究代表者名	平木 岳人

1. 委員の指摘及び提言概要

極めて現実的で緊急の課題であるアルミドロスのオゾン湿式処理による低コストで簡易な無害化、無害化ドロスを臭気成分吸着材として利用した悪臭除去にチャレンジし、新たな環境産業の創出をめざした研究であり、この廃棄物の適正処理維持に向けた貴重な研究成果である。副生廃液の循環利用によるフッ素対策など、トータルシステムとしての再考があるとの議論は重要であり、ドロスの社会的な資源循環に向けて困難な課題に挑戦していることは評価できる。また、同じドロスでも成分が発生場所でかなり違うということを明確にしたことは対策の基礎として重要である。アルミドロス発生の元になっているアルミ製造業の資源循環全体のストーリーを考えた中長期的な取り組みを期待したい。

2. 採点結果

評価ランク：A